

年 月 日

消防署長 様

住 所

申告者 職業（職）

電話

氏 名

不 動 産 り 災 申 告 書

1	り災年月日	年 月 日	り災物件と申告者との関係	所有者・管理者・占有者	
	り 災 場 所				
2	建築・購入年月日	建築又は購入金額			
	推定・記録・記憶	推定・記録・記憶・不明			
	年 月	1 m ² 当たりの金額(円)	総金額(円)		
3	取 得 後 の 経 過				
	修繕・改築	年 月	修繕・改築した箇所	修繕・改築に要した金額(円)	
		年 月			
	増築	年 月	増築の概要	増築面積(m ²)	増築に要した金額(円)
		年 月			
	4	り 災 前 の 建 物 詳 細			
建物の用途		屋 根	外 壁	階 数	延べ面積(m ²)
居住世帯数		世帯	居 住 人 員	人	
5	建物・収容物以外のり災状況				
	り災物件	り災の別	数量又は面積	経過年数	
		焼・爆・他		年	
		焼・爆・他		年	
		焼・爆・他		年	
6	火 災 保 険 の 契 約				
	契約会社名	契約月日	保険金額（万円）		

不 動 産 り 災 申 告 書 記 載 要 領

（1の欄）

り災物件と申告者との関係は、当てはまるものを○で囲んでください。

（2の欄）

- 1 建築、購入年月、金額の欄は、記録（帳簿や契約書など）によって明らかなものか、推定によるものかなど、当てはまるものを○で囲んでください。
- 2 金額の欄は、建物を取得した当時の土地の価格を除いた1㎡当たりの金額と、総金額を円単位で記入してください。

（3の欄）

- 1 取得後の経過の欄は、建物を取得してから、規模の大きな建物の修繕、改築又は増築があった場合に記入してください。
- 2 修繕・改築・増築の欄は、いつ、どこ部分を、どのくらい（㎡）、修繕、改築、増築し、いくら（金額）かかったかを記入してください。

	年 月	修繕等した箇所	金額
例）改築	令和2年8月	1階事務所部 30㎡	3,532,500 円
例）増築	平成20年4月	2階住宅 20㎡	1,520,000 円

（4の欄）

- 1 り災前の建物詳細の欄は、建物の用途、屋根、外壁の構造材、階数及び延べ面積を記入してください。

	用 途	屋 根	外 壁	階 数	延べ面積
例）住 宅		日本瓦	モルタル	2階建	75㎡
例）店舗・住宅		亜鉛鉄板	石綿セメント板	3階建	135㎡

- 2 居住世帯数・居住人員の欄は、建物内全てに居住する世帯と人員を記入してください。

（5の欄）

- 1 建物・収容物以外のり災状況の欄は、建物・収容物以外の庭木類、塀などがり災した場合に記入してください。
- 2 り災別の欄は、当てはまるものを○で囲んでください。
 - （1）焼：火災によって焼けた物及び熱によって炭化、熔融、又は破損したものなど
 - （2）爆：爆発により、壊れたものなど
 - （3）他：消火のために受けた水損、破損、汚損など、煙により汚れたものなど、運び出す時に壊れたものなど

（6の欄）

- 1 火災保険の加入が数社ある場合は、全て記入してください。
- 2 保険金額は、契約会社別に万単位で記入してください。

備 考

- 1 この申告書は、消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。
- 2 この申告書は、り災した建物1棟について1枚を使用してください。
- 3 この申告書は、り災した日から起算して概ね7日以内に提出してください。
- 4 あなたに連絡する場合の連絡先の電話がありましたら、その電話番号を記入してください。
- 5 火災によるり災証明を発行する場合、この申告書が出ていると早く発行することができます。
- 6 り災証明書を申請するとき、代理人の場合は、委任状を添えて申請してください。
- 7 この申告書で分からないことがありましたら、次の消防署まで御連絡ください。

消防署 出張所
電 話